



車載向け強化ガラス破碎検査システム

Lumi Crack



青焼き工程をなくし、データを電子ファイル化

破碎後のガラス撮影は専用の撮像装置で行います。
感光紙の確保や、青焼き溶液の管理は必要ありません。
撮像データや解析結果は電子ファイルなので、長期保管が容易です。

自動計測機能

撮像装置で撮影した写真を用いて画像解析を行い、各種計測を自動で行います。
破碎検査の速度や正確性を向上させ、効率化します。

スモークガラスや熱線入りガラス、曲面のあるガラスにも対応

透過率の低いガラスにも対応しています。
熱線や曲面に特化した解析機能も搭載し、幅広い種類のガラスの解析が可能です。

JIS (R3211)および
ECE (R43)に準拠した
強化ガラスの
解析ができます

製品構成

S/W analyzer...撮影装置+解析ソフト

①透過画像を撮影



最速8秒で撮影完了
撮影は、アプリからボタン
を押すだけの簡単操作です

②ソフトウェアで画像を解析



破片数をカウントする場所の特定から破片数の計上まで、ソフトウェアが自動で行います

S/W manager...データ管理用サーバー

③管理システムで結果を保存・閲覧



データの電子化で、大量の検査
結果を省スペースで保管可能
過去の結果検索も容易です

主な仕様

筐体の仕様

項目	値
筐体のサイズ	W : 2,000mm×D : 1,200mm×H : 2,250mm
重量	約300kg

解析可能なガラスの条件

項目	範囲
処理可能なガラスのサイズ	150mm×150mm～920mm×1,500mm
ガラスの板厚	2.5mm～5.0mm
ガラスの可視光線透過率	9%以上であること
カウント対象の最小カレットサイズ	1mm四方

主な解析機能

機能概要	詳細
カウント範囲の自動検出	最も破片の粗い部分および細かい50mm×50mm四方の範囲を自動で検出します。
自動カウント	50mm×50mm四方にある破片数を自動でカウントします。
大破片の検出	面積の大きいガラスの破片を、上位から最大10個まで検出します。
長破片の検出	長さのあるガラスの破片を、上位から最大10個まで検出します。

[2022/6 Ver. 1.1]